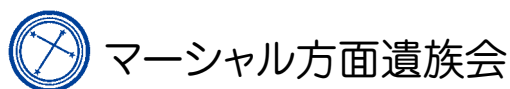


# 本部だより

## ●第 24 号



- 環礁・本部だより第 24 号●発行日:平成 23 年 8 月 1 日●発行人:黒川誠
- マーシャル方面遺族会本部:〒142-0051 東京都品川区平塚 3-4-17
- 電話 03-3783-8382 ●FAX03-6410-4420 ●振替番号 00100-0-93487



昭和 49 年 2 月 6 日本会 30 年祭に当たり、靖国神社に  
ケゼリン島慰霊碑の 2 分の 1 スケールの副碑を奉納、  
当時の宝物遺品館に安置されました。現在は遊就館とな  
り御祭神の在りし日のお姿を伝えるために奉納された遺  
影が展示されている「靖国の神々」のコーナーで出口に  
近い所に安置されています。

写真:本部所有

まず、本年 3 月 11 日に発生した東日本  
大震災で東日本を震源とする地震と津波  
によりお亡くなりになられた方々に対し  
て、謹んでお悔やみ申し上げます。  
更に被災された皆様方に心よりお見舞  
い申し上げます、一日も早い復旧をご祈念致  
します。

さて、今年の慰霊祭は、例年ならば毎  
年の慰霊祭当日頃は靖国の桜は満開で  
我々を迎えてくれたのですが、3 月中  
の気温の低さから 3 分咲き位で、少し物  
足りなさを感じました。

その上に東北地方、青森、岩手、宮城、  
福島、茨城、さらには千葉と広範囲に及

平成 23 年 4 月 2 日  
慰霊祭  
総会  
直会  
大震災後、肅々と齋行  
黒川誠(会長)



総会スナップ：黒川会長と内海監査役

黒川誠会長（神池庭園にて）

ぶ大地震と津波による大災害が3月11日に発生しましたので、毎日流れるテレビ画面を観てその被害の大きさにはただただ啞然としました。

ここ毎年のことですが、高齢になって行く会員の方々が慰霊祭に出席する人が少なくなっていますが、今年は更に追い打ちをかけるような東北の大災害があり、毎日のように余震が続いており、それも震度5、6に及ぶ激しいもので、被災された方々は尚更こたえるものであるうと思っています。

強い余震が毎日のように起こり、遠方の会員は当初出席を予定されていた方々も中止されることとなり、参加者は大分少なくなりました。

余談になりますが、本会がことある毎に定宿のようにしていた九段会館の大講堂の天井が崩落して死傷者が出るような事故が発生してしまいました。それ以来無期限の休館となり、ついには廃館となつてしまいました。当会としてもこれに代わるホテルを用意して今後の対応策を計画しております。私が出向いて調べたホテル案を7ページでご覧下さい。

## 慰霊祭出席者

敬称略

新潟県 山田昭雄 栃木県 菊池彦巨  
大串直行 埼玉県 西勝章夫 小野博孝  
小野トキ子 鈴木裕子 井沢邦夫 大井  
和子 小松順子 天野好子 小田原利子  
小田原実 小田原豊 小田原真由美 小  
田原由樹 藤田羊一 佐藤知子 高林芳  
夫 千葉県 泉水堯恵 泉水晃子 石井  
健蔵 東京都 黒川誠 笹幸恵 山田二  
美 内海淑子 書間志津子 水野貞二  
水野薫 間々田征史 間々田邦子 田島  
昭男 田島智恵子 谷梯初江 星野綾子  
番場信子 鈴木千春 中村順子 中村秀  
夫 草場寛 若狭幸子 若狭健一 若狭  
恵子 若狭美幸 山口良二 西田恒子  
神奈川県 佐藤隆一 佐藤章子 岡野智  
津子 安威和子 糺谷友孝 森井静子  
岐阜県 堀尾洋平 吉田正明 山口県  
櫛崎馨 愛媛県 馬場清 香川県 松原  
敦子 福岡県 平田郁子 石松順子 小  
来實 徳原徳子（ハワイ）  
（受付確認が出来なかった方が6名いら



直会スナップ：徳原徳子さん（上）と榎崎馨さん（下）

花見自粛の看板（遊就館前）

つしゃいました）

## 慰霊祭

参集殿では高林幹事より当日の行事予定説明が行われ、神官の先導で手水を遣つてお祓いを受け、型通りの儀式後昇殿します。

ご本殿で神官の祝詞奏上の後、私の祭文奏上、小田原利子、糺谷友孝、石川正興、若狭健一さんと私による玉串奉奠に合わせて二礼二拍手一礼作法に則り、参拝を終えて退下、靖国会館前で記念写真撮影を行いました。

## 総会

靖国会館2階「田安の間」で正午より総会を行いました。

高林幹事の司会で始まり、議長に草場幹事が選ばれて式次第に従って議事が進行しました。

## 式次第

一、開会の辞

二、会長挨拶（会務報告）

三、会計報告

四、会計監査報告

五、役員改選（新役員の選出）

六、新会長の挨拶（役員選出）

七、来賓挨拶

八、国内慰霊祭行事の発表

九、現地慰霊巡拝の説明と発表

十、その他

会計報告は荒木常任幹事が体調不良で欠席のため私が行い、内海監査役より承認されました。

今年には役員改選の年で、あらかじめ役員会で私の留任が決まっております、委員の同意も得て後2年を務めることになりました。役員人事は会長の指名となり、全員留任となりました。

新会長としての挨拶では、本会ホームページ制作で歴史と伝統のある本会のPRの重要性を説明致しました。

最も大切なことはこれまでも申し上げて参りましたが、クエゼリン島、ルオット島での現地慰霊巡拝が滞りなく行われることです。

今日までは参加者を募り、旅行社にり

## 平成 22 年度 会計報告書

マーシャル方面遺族会 自:平成 22 年 1 月 1 日  
至:平成 22 年 12 月 31 日

## 1) 一般会計収支計算

## 収入の部

科 目	金 額
前期繰越	940,342
年会費	720,000
寄付金	491,500
雑収入	29,400
受取利息	113,013
小 計	1,353,913
合 計	2,294,255

## 2) 一般会計財産目録

平成 22 年 12 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	111,768		
普通預金	1,031,194		
郵便振替	164,381		
		次期繰越	1,307,343
合 計	1,307,343	合 計	1,307,343




## 3) 特別会計

## 支出の部

科 目	金 額
慰 霊 費	226,870
広 報 費	493,780
会 議 費	106,566
雑 費	112,014
振替手数料	25,160
公 租 公 課	22,522
小 計	986,912
次 期 繰 越	1,307,343
合 計	2,294,255

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期より繰越	9,000,000		
		次期繰越	9,000,000
合 計	9,000,000	合 計	9,000,000

※定期預金及び定額貯金として保管

会長 黒川 誠   
 会計 荒木 幸   
 監査役 内海 淑子 

ストを渡せば「マーシャル方面遺族会」の名前だけで簡単に許可が下り、何時でも最優先で墓参が出来るものと信じきっていました。

しかしながら昨年申請時より環境は大きく変化していることに思い知らされることとなりました。

本会で建立した慰霊碑があることから他の慰霊団体よりも申請すれば即許可されるものと思っていたのです。今後は厚生労働省経由で外務省より申請書が米国に提出されて許可を受けることとなりました。

戦後65年も経てばクエゼリン島基地司令官以下、スタッフも組織も戦争を知らない世代です。クエゼリン、ルオット両島で激戦があったことなど誰も知らないことでしょう。もちろん、「マーシャル方面遺族会」の存在などは知る由もないと思います。

加えて現在の両島他の古戦場は毎日35度以上の炎熱の下、激しいスコールを受けて椰子の木を始めすべての植物は緑一色となり、環礁を含めてその環境は楽園そのものなのです。

徳原徳子さん（篤志会員・ハワイ在住）には初めて本会の慰霊祭に来賓として出席して戴きました。更に総会、直会にも出席して戴き、その都度思いを込めたご挨拶を戴きました。

徳原さんと本会のつながりは「本会の恩人」とこれまで何回も本誌で紹介して参りましたが、席上、クエゼリン島にある慰霊碑の建立には夫君が現地の方々と力を合わせて従事されたことを直接お聞きすることが出来ました。ありがとうございます。

国内慰霊の発表は岡野幹事よりご案内し、現地慰霊の発表は高林幹事より3・11を踏まえて自粛中止のやむなきに至った報告がありました（詳細は6ページを参照）。

ジベ・カプア・マーシャル共和国大使には、来賓としてお迎えすることになっていましたが、震災が影響して残念ながら欠席されました。

### 直会

総会が無事終わり、その後は総会会場

がそのまま直会会場となりました。席上、今年2月に行われた「戦没者遺児による慰霊友好親善事業（日本遺族会主催）」に参加された藤田羊一、櫛崎馨さんによる報告が行われるなど、和気藹々の内に終了致しました。

## 千鳥ヶ淵墓苑拝礼式

### 内海 淑子（監査役）

5月30日、台風2号の影響で前日から激しい雨が降り、朝になっても降り続いていました。厚生労働大臣からの案内状には「晴雨に関わらず式典は開催されます。ただし荒天の場合は、取り止めます」と書いてあります。九段に着きましたら青空が広がり、青葉が眩しく思いがけない晴天になりました。

午後12時30分、秋篠宮同妃殿下がご臨席になられ、開式。参列者一同が国家を斉唱。厚生労働大臣が式辞を述べ、大臣お一人が遺骨を捧げて納骨を行う。

秋篠宮同妃殿下が菊花を献じてご拝礼になり、参列者一同これに倣い、拝礼を

行う。内閣総理大臣並びに

各大臣の

献花、関係国駐日

大使、各

政党代表、

都道府県

知事代表、

日本遺族

会並びに遺族代表。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会会長が各々献花し、その間厳かに「故郷」、「千の風になつて」等が演奏され、午後1時15分に閉式しました。

平成9年3月23日、クエゼリンから99体のご遺骨がお帰りになり、千鳥ヶ淵墓苑に納骨されています。

毎年各方面からのご遺骨の帰還により六角堂の奥に大規模な納骨堂が作られており、そちらに納骨されていると聞きました。

今回は硫黄島、東部ニューギニア等で収容した遺族に引き渡すことが出来ない1,699柱が納骨されました。



黒川会長と内海監査役

平成 24 年

## 現地慰霊について

高林 芳夫 (担当幹事)

平成 21 年、22 年、23 年と 3 年連続して  
 本会の現地慰霊は実施されていません。

昨年 22 年と今年 23 年は実施の予定で計  
 画をしておりましたが、残念ながら叶え  
 られませんでした

まず昨年の現地慰霊が延期となった理  
 由は本部便り第 23 号に詳しく掲載してい  
 る通りでございます

今年も実施の予定で参加希望者に書類  
 を発送する直前の 3 月 11 日に東日本大震  
 災が発生しました、

地震と津波で死者 15、269 人、行  
 方不明者 8、526 人の方々が犠牲とな  
 られました。

命が助かった方々も避難生活で不自由  
 な生活を余儀なくされています。避難者  
 は 102、501 人もおられます。心よ  
 りお悔やみとお見舞いを申し上げます。

その後の福島原発事故は日々影響が拡

大しております、この先どのように収拾  
 されるのかまったく見当が付きません、  
 このような状況の中で現地慰霊を実施す  
 べきかどうか役員会を開いているいろと  
 討議した結果、今年の現地慰霊は自粛す  
 る事に決まりました。

参加希望者は 26 名でした。

今後のクエゼリン島入国について

クエゼリン島への入国申請方法が今ま  
 でとまったく変わりました

時代の変化、世界情勢の変化、特にテ  
 ロ対策等により入国審査が厳しくなりま  
 した

今までは (昭和 50 年～平成 20 年まで)  
 現地クエゼリン基地司令部とマーシャル  
 方面遺族会との直接交渉で入国許可が下  
 りましたが、今後は直接交渉が出来な  
 くなりました。

今後の入国手続き方法について

まず入国申請に必要な書類を揃えま  
 す。

## ■ 訪問申請書 (和・英)

- ① 訪問施設
- ② 訪問場所
- ③ 訪問日時
- ④ 訪問先での討議等で触れる内容におい  
 て予期される秘密の区分
- ⑤ 訪問目的
- ⑥ 特定の武器システム等に関わる場合、  
 そのアイテム名
- ⑦ 訪問先担当者
- ⑧ 備考
- ⑨ 訪問者個人データ

## ■ 訪問者詳細 (和・英)

- 名前 (姓名)
- 会社名・所属団体
- 役職
- 生年月日
- 入域許可
- パスポート番号
- 有効期限
- パスポートの写し
- 経歴表・訪問者一覧・日程表
- 以上の書類が必要

以上の申請書類を厚生労働省に申請し  
 ます、私たちの直接の窓口は厚生労働省

ですのでそれ以降の流れは詳しくは判りませんが、受理されますと厚生労働省より外務省へ、外務省より外交ルートで米  
国政府、ペンタゴン、クエゼリン基地司令部へと書類が回るようです。

そして入国許可の返事は早くて3カ月はかかるそうです。

平成24年の現地慰霊は11月初旬を予定  
しています。

申請方法が変わって初めての事ですので申請手続きは早めに行います。10月から11月中には申請手続きを行う予定です。

参加希望者は今年(23年)8月末までに本部まで連絡を下さい。

(注、申請書類は全員のものを一括して行います。申請後、または入国許可が下りた後で都合によりキャンセルすることは構いません。一括申請後の個々の申請は出来ません)

現時点での費用の詳細はわかりませんが、参考までに前回平成20年の現地慰霊は、期間が7日間で費用は一人289,000円でした

参加希望者には追って詳しい案内書をお送りします。  
以上

## ホテル ヴィラフォンテーヌ 九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-4  
Tel : 03-3222-8880 Fax:03-3222-8868

### 九段会館閉館に伴うホテルのご案内

■本会の慰霊祭、永代神楽祭などに参加される方々のために九段会館に宿泊出来るように予約をして参りましたが、東日本大震災により同館の大講堂が崩落して多数の人災事故が発生し、5月15日の日本遺族会通信に寄りますと九段会館は廃業と決定になりました。これからの宿泊については、宿泊料金が安く靖国神社に近いところを検討の結果、手頃なホテルを見つけたことが出来ました。是非、参考にして下さい。



●ホテルから靖国神社までは徒歩約20分です。

### 客室料金(144室) 2008年3月現在

客室タイプ	ベッドサイズ	1名様	2名様
スーパーリアルーム	140cm 1 Bed	¥9,990	¥12,000



●朝食無料サービス  
パン・サラダ・コーヒーを主としたビュッフェスタイル。  
(7:00 ~ 9:30)

### ご予約は

ヴィラフォンテーヌ  
総合予約センター

**Tel:03-5339-1200**

24時間受付(年中無休)おかけ間違いのないようお願いいたします

インターネット予約

<http://www.hvf.jp>

## ウオツゼ島の霊砂

鈴木千春

(東京都)



子供の頃から墓参りの度、目にしていた文字。大叔父の墓石に刻まれた文字。蝉の声だけが響き渡る静かな墓地に佇む。「昭和二十年四月一日 マーシャル群島 ウオツゼ島にて戦死 鈴木 實 享年二十六歳」

地図でマーシャル諸島ウオツゼ島の位置を確認する度に思う。日本からなんと遠い、こんなに遠い場所で・・・彼は何



鈴木実命 (大叔父)

を思っていたのだろうか。海を見ながら、きつと故郷、岩手、花巻の豊かな緑の山や、清く流れる北上川、愛する家族や友達を思っていたことだろう。

四月、はじめて「マーシャル方面遺族会」に出席した。私はこの会に出会うまで、時間がかかってしまった。

祖母がだいぶ前に亡くなったため情報がなく、大叔父の生きた二十五年の足跡を辿ることはすべて手探り。どこに行けば何がわかるのか、誰に尋ねればいいのか、まったくの白紙スタートだった。兵籍簿を入手し、彼の人生を知り、ようやく全体像が見えてきた。

十七歳で海軍に志願し、横須賀海兵団、上海陸戦隊、横須賀砲術学校を経て、重巡洋艦「愛宕」に乗り、鍛えられ、その後、三菱重工長崎造船所で艦装中の戦艦「武蔵」に艀装員として乗艦した。本来であれば、砲術、測的の下士官として最新鋭の二号艦「武蔵」で戦うはずのところ、約一年後にマーシャル諸島ウオツゼ島に「陸戦隊」として渡った。海軍に志願したからには、さぞかし「武蔵」で、不沈艦と謳われた巨大戦艦で、戦っ

て死にたかったであろうと彼の無念を想像した。なぜなら、土屋太郎氏の「籠城600日」、稲毛三郎氏の「飢餓の島」ウ

島戦「夢物語」を読んだ後だったからだ。そこに記された飢餓地獄、ウオツゼ島。クエゼリンやルオットの島名はよく戦史にでて来るが、ウオツゼはほとんど出てこない。絶海の孤島で二カ年にも亘る飢餓との戦い。私はあまりの壮絶さに、大叔父の遺影を見つめる日が増えた。彼は二十五歳の春、故郷からはるか遠く離れた南海の島で拳銃自殺・・・短い生涯を終えた。大叔父さん、貴方の青春はどんな日々だった？どんな楽しみがあった？どんな仲間がいた？・・・遺影は何も答えてくれない。

調査の開始が遅すぎた私は「愛宕会」がすでに解散しており、また「武蔵会」も活動をやめたことを知り、今更ながら戸惑ってしまった。ご存命の戦友の方々には到達できず、行き止まり・・・。残るはマーシャル諸島。靖国神社に問合せ、マーシャル方面遺族会として、会が存続していることがわかったときには安堵した。しかし、大叔父は独身だったため、



大姪の私は「遺族」に入れてもらえるのか、どうかもわからず、入会資格はないと思ひ込んでいた。調査を続けるうち、昭和四十年の遺族会の古い会報「環礁」に出会った。

昭和三十年代後半から四十年代に続々と各遺族会が活動をはじめたことや、当時の日本には、まだまだ戦争の名残、傷跡が色濃くあったこと。現地への慰霊巡拝が盛んに行われていたこと。私には読む記事、全てが新鮮だった。しかし大叔父の足跡調査には、当時の広範囲に亘る「中部太平洋戦線」全体の戦闘状況を知る必要があり、もともと近現代史を知らない私には、途方もない膨大な作業ということがわかった。

弱気になり、もう諦めよう「環礁」を読むのもやめようと思ったその時、目にとまったのが「霊砂」の記事だった。私の生まれた「昭和四十年に海上自衛隊の護衛艦「あまつかぜ」でマーシャル各島（クエゼリン、ルオット、ウオツゼ）の砂「霊砂」が運ばれ、横須賀に到着した。」という記事だった。クエゼリンには米軍基地があるため、上陸には外国人はもち

ろん、米国人も特別許可が必要な制限地域。日本人遺族の慰霊参拝、遺骨収集など一切許されなかった。何度も粘り強く交渉を重ねた日本の遺族会の意向に理解を示した米軍関係者が、各島の砂を集め、護衛艦に乗せ、日本へ送った、という感動的な話だった。

私は、その記事から四十五年以上経った今、当然、霊砂は残っていないだろうと、「何を今更」と笑われるのを覚悟し、ダメでもともと、遺族会に連絡した。「あります」とのお答え。驚きだった。これは「奇跡」だ。まさしく霊砂は遺骨の替わり。ずっと大切に保存されていた貴会に感謝、感謝だった。また、私のような直接の遺族、遺児でなくても入会を許していただけなことにも感謝である。

そして今年四月、靖国神社で、記事掲載から半世紀近い年月を越え、ウオツゼ島の「霊砂」を、大叔父の「遺骨」を受け取ることができた。本当に「有り難き」ことであり、私は大切に鞆に入れ、抱きかかえて家路についた。緊張してしばらく封筒を開けることができなかつたが、大叔父の遺影に靖国の御神酒を供え

た際、「霊砂」に面会した。砂は細かく、サラサラと音を立てた。南の海の潮騒が聞こえるようだった。

私の大叔父を追う作業はまだまだスタートライン。迷い、混沌とし、いつ終わるのか全く不明。しかし、立ち止まっていた私の背中を押してくれた心強い出会いがあった。作家・手塚正巳氏との出会いである。彼は「軍艦武蔵」「凌ぐ波濤」の著者である。水交会でお会いし、大叔父が武蔵の艦装員だったことが縁となり、親身に調査の方法や、文献、史料の探し方など貴重な助言をいただいた。

「人の足跡を追うのは膨大なエネルギーを要する。時には霧に閉ざされて立ちすくみ、呆然とすることもある。しかし探し求める相手は確かに生まれ、生き、死んでいった。幻でも想像の産物でもない。あの過酷な時代に生きていたという事実を常に心に置いて、様々な資料の中から具体的な像を浮かび上がらせる。人の一生を追うことは、追跡する者のこれまで歩いてきた過去を振り返ることであり、結果として自分自身を知る手がかりになる。あなたが今やっている作業は、

いつの日か貴重な財産としてあなたの中に残るはず。だから決して無駄ではない。」そう言ってくれた。

私は実家に帰省するたびに墓前に報告している。「少しずつですが、貴方の青春時代に近づいていきます。もう少し待っていてくださいいな。」

多くの出会いが支えてくれている。貴会との出会い、会報、霊砂、手塚氏：。。。きつとこれからも出会いがあると思う。学ぶべきことが多すぎて、途方に暮れながらも、続けていこうと思う。南の島で散った大叔父の「声なき声」を聞く旅を。

## 「靖国の神々」

山口良二（幹事）

皆さんご存知でしたか、靖国神社の遊就館の展示室に沢山の御遺影が飾ってあるのを。靖国の神々として4展示室の壁面いっぱいを埋め尽くしています。ご遺族の皆様がすべて奉納したものだそうです。申し込み順に並んでいるようでした、索引簿で名前を見つけると、どの展示室

本枠内に御記入下さい。御一柱に対し一枚御提出願います。※印以外はわかる範囲で結構です。

### 遺品奉納受付

平成 年 月 日

神社記入欄

※奉納者		※死歿時本籍地	死歿場所	※死歿日	※戦歿者氏名	階級
ふりがな	〒	※姓名まで		明・大・昭和	命	陸・海・軍
氏名	御住所			年 月 日		
生年月日	電話番号(一)	都道府県		年 月 日		
年 月 日	日中の御連絡先(携帯電話等)					
	(一)					
	御祭神からみた続柄					
備考				御遺影	郵送・米館にて奉納「受付」	

靖国神社 遊就館部史料課

申込書雛型

の何列何番にあるか分かるようになってきます。今回その奉納の仕方を調べてきましたので、ご案内致します

御遺影の展示について(案内書より)

遊就館では、御祭神の在りし日のお姿を後世に伝えるため、ご奉納いただいた御遺影を「靖国の神々」のコーナーに展示しています。ご希望の方は、以下の要

領で御遺影をご奉納下さい。

①御遺影(御祭神の写真)キャビネ版(もしくは2Lサイズ)でご奉納下さい。(注意)写真は返却しません。写真屋で予め複製してご奉納下さい。カラー写真・コピーはお受けできません。

②御祭神に関する情報 次の事項について分かる範囲でお書き下さい。

（「祭神之記」をお持ちの方はその写しでも可）

●御祭神の「階級」・「氏名」・「戦没年月日」・「死没場所」・「戦没時本籍県」

●奉納者の「氏名」・「住所」・「電話番号」・「生年月日」・「御祭神との続き柄」

③奉納金 御一柱壱万円をお納めいただきます。

以上を遊就館の受付にご持参戴くか、左記宛先に御郵送下さい。

〒102-8246

東京都千代田区九段北3-1-2

靖国神社遊就館部「史料課」宛

ご不明の場合は遺族会本部、または遊就館03-3261-0998へお尋ねください。 以上

■本会ホームページ（鋭意制作中）にて、もご遺影を掲載する予定です。何枚でも結構ですので本部までどんどんお寄せ下さい。

### 寄付者芳名（敬称略）

北海道 岩川あい 青森県 下川与三郎  
宮城県 相馬ツキ 安藤としえ 秋田県

打矢和子 山形県 長岡正昭 福島県  
富田ミツ 根本さとみ 古市キノ 茨城  
県 鈴木ヨシエ 栃木県 菊池彦巨 大  
串直行 埼玉県 宇田川ひさ 小野博孝  
橋本強 服部淑子 井澤なを 鈴木裕子  
天野好子 小田原利子 近藤マスエ 佐  
藤知子 高林芳夫 千葉県 廣原実 宮  
本博 石井健蔵 相川孝夫 高山満喜男  
宮崎実 東京都 黒川誠 藤縄安子 佃  
信一郎 高坂和靖 笹幸恵 田中勲 毛  
塚通弘 井上賀雄 内海静枝 書間志津  
子 水野貞二 間々田征史 谷梯初江  
番場信子 鈴木千春 星野綾子 中村順  
子 草場寛 西田寿子 浜田つき子 山  
口裕子 西田恒子 神奈川県 佐藤登志  
岡野智津子 石沢洋子 鈴木友季子 平  
井貢 糺谷友孝 熊沢友孝 熊沢静子  
石渡綾子 森井静子 鈴木純孝 新潟県  
山田輝雄 石丸進 富山県 池田淑子  
広島富子 藤木義房 石川県 木村久子  
山梨県 黒川正文 長野県 由井芳枝  
宮下勤子 岐阜県 堀井洋平 吉田正明  
静岡県 服部くにゑ 大畑幸夫 野崎昭  
二 愛知県 大見シノブ 岡島みね子  
安藤昌子 浜田芳枝 大阪府 大串静代

和歌山県 福井敬眞 鳥取県 井上輝雄  
広島県 藤木正 佐々木千鶴子 浦手清  
司 瀬戸隆子 奥井禮子 山口県 吉永  
峯生 道源陽子 香川県 石川正興 富  
田佳代子 愛媛県 三好エミ子 長岡俊  
夫 山村一郎 馬場清 渡部守 大塚喜  
久雄 高知県 山本忠 野島鶴美 福岡  
県 平田郁子 吉松貞子 佐賀県 山下  
タエ 熊本県 土田利子 塚野ヨシ子  
植川二男 宮崎県 森フサエ 鹿児島県  
川越コウ 松野下サツエ 沖縄県 宮城  
勇 会友 キリバス友の会 山口正雄  
兵頭義彦

### 訃報

●高橋鎮夫さん（神奈川県・平成22年11月12日逝去。享年87歳。村上会長時代より役員として本会の運営に奉仕）

●吉田貫治さん（北海道）

●石田藤美さん（香川県）

●渋谷セキノさん（新潟県）

●大高吉郎さん（東京都）

●川越コウさん（鹿児島県・享年99歳）

謹んでご冥福をお祈り致します。

第49回マージナル方面遺族会慰霊祭

平成23年4月2日

於 靖国神社



撮影 ツカモト写真館(靖国神社・九段会館指定)